



株式会社トミナガ

業務内容 製造業 創業 1959年 従業員数 90名
所在地 高知市布師田3981-5(機械工業団地内)

鑄造現場の情報のデジタル化により 作業内容の共有、労働時間削減に成功！ すべての人が手順を理解できる仕組みづくり

会社の入口にあるネコの鑄物が目を引く「株式会社トミナガ」。創業から66年の歴史を持つ高知を代表する鑄造会社として、マンホールの蓋から印刷機械部品、船舶用大型クレーン部品など幅広い鑄物を手掛けています。デジタル技術を導入して、生産管理の強化を実現した老舗企業の取り組みや今後の展望についてお話を伺いました。



大倉さん
業革推進部

Q 御社のデジタル化の取組内容について教えてください。



これまで手書きだった“看板”を、ローコードツールを用いた自社開発によりデジタル化しました。“看板”とはアルミ板に顧客名や品名などを記した葉的なものです。それをデジタル化したことで労働時間短縮に成功。情報はクラウドにアップされ、進捗や工程の見える化、共有も実現。さらに看板内のQRコード®をスマートフォンに読み込めば写真や動画で作業手順、注意事項が分かるようにしました。

Q 抱えていた課題と、デジタル化に取り組んだきっかけを教えてください。

従来の“看板”は油性ペンで手書きし、終わるとシンナーで拭き取っていました。この作業に時間が掛かり、また記入できる情報が限られ、判読が難しいことも。海外からの人材や新入社員の採用を機に、誰が見ても理解できるシステムを構築することにしました。また、上層部と現場から「不具合率を下げよう」との声が上がり、社長直轄の業革推進部が主導する形でプロジェクトが始まりました。



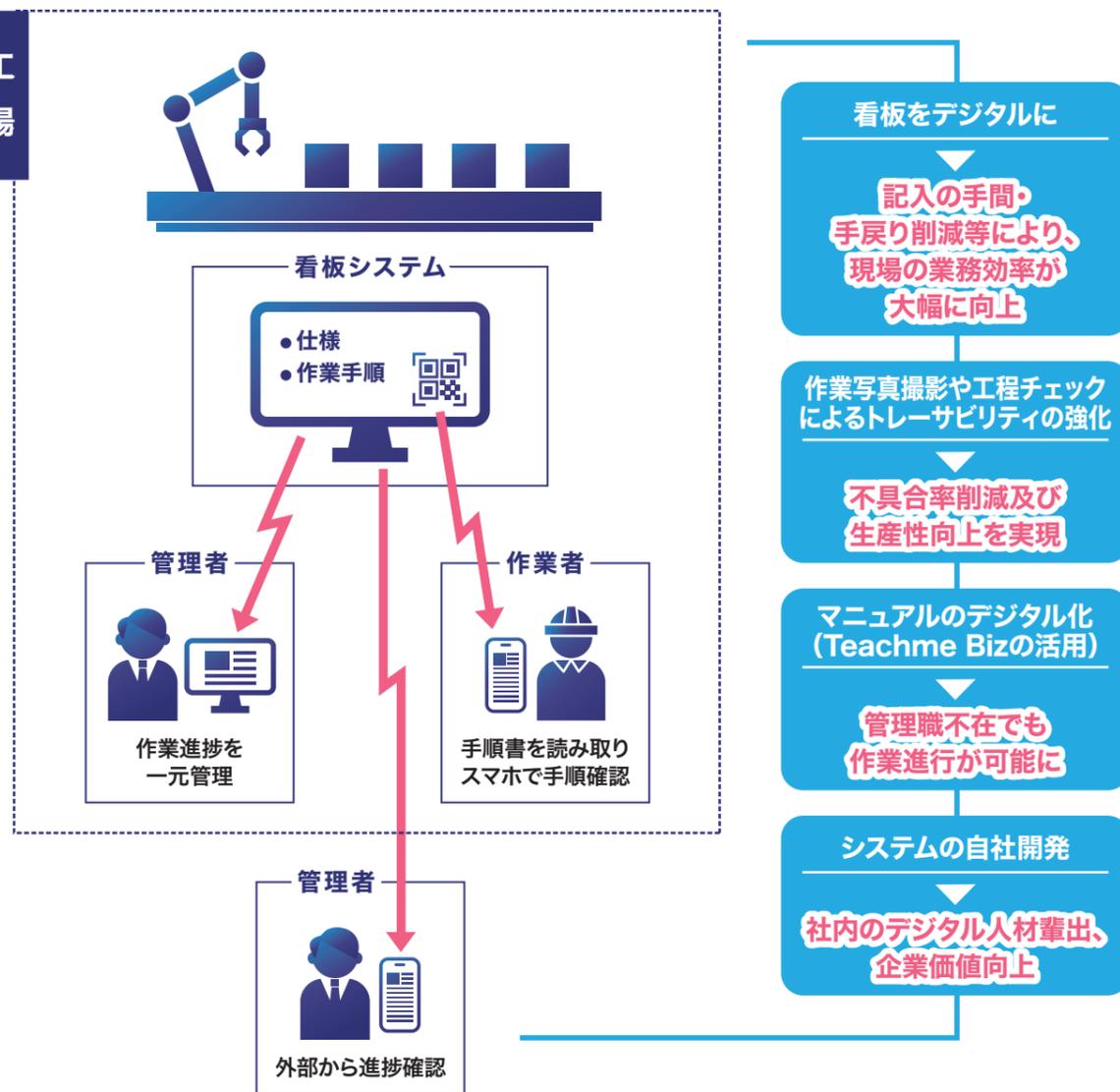
Q デジタル化に成功した秘訣を教えてください。

現場の端末はスマートフォンを導入していますが、当初は操作に苦戦する人もいました。そこで入力を簡略化し、作業工程などはQRコード®で読み取るだけで起動するシンプルな仕組みに。外国人スタッフもイメージしやすいようイラスト表示を工夫しました。システム開発者が実際に現場で働き、仕事の内容や流れを把握したことで作業者に寄り添った画面デザインと操作性を実現しました。



デジタル化の取組イメージ

工場



取り組みの成果

- ・月間約23時間の時間外労働の削減
- ・月間約69.1%の不具合率削減
- ・育児休業の取得や年間休日の増加、基本給アップ

デジタル化導入までの期間とプロセス

- 期間：約2年(業革推進部新設から看板システム開発、導入まで)
- プロセス：2024年に業革推進部新設。システム開発者の現場研修を経て、開発に着手。現場発の改良を重ね2025年に実装

導入にあたっての人材確保 (ITベンダー含む)

- プロフェッショナル人材活用 ●高知デジタルカレッジ受講
- 県内のDXコミュニティや交流のある県内外の企業との情報交換

導入したITツール

- Clarif FileMaker ●ChatGPT
- Teachme Biz(デジタルマニュアル作成・共有ツール) など

支援機関、補助金等の活用の有無

- 高知県産業振興センターのデジタル化相談窓口
- 高知県プロフェッショナル人材戦略拠点

QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です

受賞にあたって

私たちの取組を評価いただきうれしく思います。今回のシステム開発を経て、デジタル化に向けた確かな一歩を踏み出せたと確信しています。今後は蓄積した実績データをAIに反映させ、さらなる高度化を目指してまいります。

これからデジタル化に取り組みたい事業者様へ

今回のシステムは、外注すれば【数カ月規模・約300万円】かかるものを、自社開発することによって【約100時間・ローコスト】で開発できました。同業他社からの見学希望も多く、受注につながる事例も。弊社のデジタル化が、みなさまの具体的な運用イメージの手助けになれば幸いです。



代表取締役
島田誠氏